

災害ボランティアセンターにおける各班の役割

“災害に対する備え”は、日頃から地域ぐるみで考えておくことがとても大切です。

初回の訓練に続き、今年度はロール・プレイングの方法（それぞれ役を演じながらの疑似体験を通して、実際の災害時に適切に対応できるように学習する）で、「災害ボランティアセンター（以降、災害VCで表記）立ち上げ運営訓練」を12月に実施しました。大きく5つの班で構成される災害VCについて、『各班の役割』を訓練時の写真や参加者の感想とともにご紹介します。

※災害VCの概要については、第78号（平成27年1月発行）で特集しています。

当会ホームページにて、「社協 らんざん」のバックナンバーがご覧いただけます。

①受付班

ボランティア活動希望者の受付を行う班

災害VCに来られた方と最初に接する受け入れ窓口となり、ボランティア活動希望者だけでなく、すべての来訪者に対し、何を求めて来られたのかを聞き取って案内・誘導する総合案内としての役割も大きくあります。

ボランティア活動希望者に対して、受付登録事務及びボランティア活動保険加入事務を行います。

※総合案内を受付班とは別に設けて運営する場合もあります。



②ニーズ班

被災者ニーズ(困りごと)の聞き取り・ボランティア依頼票の作成を行う班



被災者の気持ちに寄り添いながら、電話・FAX・来所によるニーズの聞き取り対応を行います。相談を受ける中で、被災者の状況や隠れたニーズをくみ取りながら、必要としているボランティア活動の内容を正確に聞き取ることが大切です。

活動の安全性なども考慮し、ボランティアによる対応が可能かの見極めも行います。

